

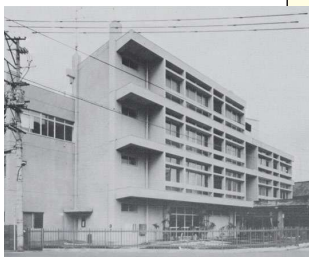
# 「エッソール広島誕生前史」

国連が1975年を「国際婦人年」として定め、メキシコで「国際婦人年世界会議」が開催。1985年までの10年が「国際婦人の十年」とされ、平等、開発、平和を目標に掲げられる。これを受け世界各地で女性をめぐる問題に積極的に取り組む機運が高まり、広島でも婦人団体が集結。

年 エッソール広島とその周辺のできごと

1980年 昭和55年 1979年設置の広島県婦人対策推進会議が「広島県の婦人の地位向上と社会参加をすすめるための提言」を提出

1981年 昭和56年 「広島県を女性問題に取り組む先進県に」との女性たちの思いから44団体の参加で広島県の婦人の地位向上と社会参加をすすめる会（現名称は、広島県の男女共同参画をすすめる会）を発足  
国際婦人の十年を記念して「広島県婦人総合センター」設立を求める提言



建て替え前の広島県婦人会館

1983年 昭和58年 「すすめる会」、婦人総合センター建設について知事に要望書提出

1985年 昭和60年 「すすめる会」が婦人総合センター建設についてプロジェクト会議設置

1986年 昭和61年 広島県が、婦人総合センター基本構想発表  
管理運営のための財団法人設立基金の募金について合意  
「すすめる会」が財団法人設立募金委員会発足  
「広島県婦人対策推進懇話会」設置

1987年 昭和62年 広島県、広島県歯科医師会、広島県国民健康保険団体連合会、広島県住宅供給公社の4者で婦人総合センター建設工事を契約、工事が着工



1989年オープン  
の  
広島県婦人総合センター・エッソール広島

1988年 昭和63年 広島県が3000万円、広島県婦人団体連絡協議会が1000万円、すすめる会が2100万円を出資し、財団法人広島県女性会議を設立、建設する婦人総合センターの愛称を「エッソール広島」に決定

  
「エッソール」は  
フランス語で飛躍、  
発展の意味

ジェンダーをめぐる国内や世界の話

日本初の女性大使が誕生（駐デンマーク特命全権大使高橋展子さん）

男女間で定年年齢に差をつけた企業の規定が、女性差別で無効との最高裁判決  
婦人差別撤廃条約発効（当時日本は未批准、「婦人」の呼称はのちに「女子」に変更）

国連総会で「国際平和と協力促進への婦人の参加に関する宣言」採択

男女雇用機会均等法公布、女子差別撤廃条約批准  
国籍法一部改正で父母両系主義へ、「国連婦人の十年」最終年世界会議がナイロビで開催

男女雇用機会均等法施行  
土井たか子さんが社会党委員長に、日本初の女性党首

国際女性の地位協会が設立

パキスタンで初の女性首相誕生、イスラム教国初の女性指導者に

1989年、広島女性の地位向上と社会参画活動の拠点、広島県婦人総合センターがオープン。広島市中区富士見町の地下2階、地上9階の複合施設で、ホールや会議室など整備。ひろしま女性大学人材養成課程・通信課程が開講した。

年 エソール広島とその周辺のできごと

ジェンダーをめぐる国内や世界の話題

1989年  
平成1年  
広島県婦人総合センターがオープン  
研修・相談・交流事業を実施、女性に係る何でも相談を行う

文部省新学習指導要領で高校家庭科が男女必修化、中学校で必修化決定

1991年  
平成3年  
広島県の青少年婦人課婦人係が「青少年女性課女性係」に改組  
「広島県婦人対策推進懇話会」も「広島県女性対策推進懇話会」(懇話会)に

育児休業法公布、翌年施行  
緒方貞子さんが日本人初の国連難民高等弁務官に  
アウン・サン・スーチーさんにノーベル平和賞

1992年  
平成4年  
懇話会が「男女共同参画型社会の構築を目指して」提言  
広島県が、「広島県女性プラン(第一次改定)」策定

防衛大学校が女子学生受け入れ、全国フェミニスト議員連盟発足  
「婦人問題担当大臣」新設 河野官房長官

1993年  
平成5年  
ひろしま女性大学人材養成課程が広島校・福山校の2校体制に



エソール広島開館を記念して  
奥田小由女さんにより制作された「天翔る讃歌」

パートタイム労働法が公布・施行  
女性に対する暴力の撤廃に関する宣言を国連総会委員会採択

1994年  
平成6年  
エソール広島、オープン5周年記念行事開催  
エソール広島の正式名称「広島県婦人総合センター」が「広島県女性総合センター」に名称変更

「家族からはじまる小さなデモクラシー」掲げた国際家族年  
「婦人問題企画推進本部」を廃止して「男女共同参画推進本部」設置  
向井千秋さんが日本人女性初の宇宙飛行

1995年  
平成7年  
広島県女性海外派遣事業(北京で開催の第4回世界女性会議へ)

育児休業法改正、育児・介護休業法公布(1999年全国施行)  
第4回世界女性会議、北京宣言採択「男女平等と女性の地位向上及びエンパワーメント」に対するあらゆる障害を除去する」

1996年  
平成8年  
ひろしま女性大学備北講座開講(2000年度まで)  
エソール広島国際交流事業「女と男のパートナーシップ(中国・シンガポール・タイの女性を招待)」

法制審、選択的夫婦別姓制度の導入盛り込む答申  
優生保護法を一部改正した「母体保護法」施行

1997年  
平成9年  
エソール広島国際交流事業「ハワイ州に10名派遣(広島県とハワイ州友好提携調印式、記念祝賀会、ハワイ州女性団体との交流)」  
女性大学修了生を対象とした「ひろしま女性未来会議」が発足

文部省内に「男女共同参画推進連絡会議」発足、日本ジェンダー学会発足  
南極観測観測隊に初の女性隊員、戦争と女性への暴力に関する国際会議開催

1998年  
平成10年  
エソール広島開館10年記念エソールフェスティバル  
「広島県男女共同参画プラン」策定  
「青少年女性課男女共同参画推進班」設置(青少年女性課女性係を改組)  
広島県男女共同参画推進本部設置



エソールフェスティバル

日本DV防止・情報センター発足  
文部省が「婦人教育課」を「男女共同参画学習課」に改組

21世紀は男女共同参画時代へ。広島県女性会議は公益財団法人へ。  
 男女の人權尊重、社会制度や慣行についての配慮、政策立案や決定への共同参画、家庭生活と他の活動の両立、  
 国際的協調の5つを基本理念とした「男女共同参画社会基本法」が1999年に公布・施行された。

年 エソール広島とその周辺のできごと

1999年 平成11年	男女共同参画21世紀基金創設、広島県男女共同参画懇話会設置	ジェンダーをめぐる国内や世界の話題
2000年 平成12年	エソール広島のホームページ開設	女性の時間外労働制限、深夜・休日労働禁止を撤廃した改正労働基準法が施行 男女共同参画社会基本法公布・施行
2001年 平成13年	女性のためのIT教室開設(2005年度まで)「広島県男女共同参画推進条例」公布・施行	ストーカー規制法、児童虐待防止法施行、男女共同参画基本計画閣議決定
2003年 平成15年	レストラン「ステラ」のリニューアル・オープン、広島県男女共同参画基本計画策定	DV防止法公布・施行
2004年 平成16年	就業援助センターを在宅ワーク支援センター広島に名称変更 男性更生保護施設「ワイズ広島」が女性も入所可能に	国連訓練調査研究所(ユニタール)が広島事務所開設
2005年 平成17年	広島県が、児童相談所、知的障害者更生相談所、婦人相談所の機能を統合して「こども家庭センター」を開設	改正育児・介護休業法施行(育児延長等) アメリカで史上初の黒人女性国務長官誕生
2006年 平成18年	「ひろしま女性大学」を男女共学化し「エソールひろしま大学」に、メールマガジン発行開始	国連女性の地位委員会50回目の開催、国内開発戦略へのジェンダー視点の統合等
2007年 平成19年	エソールひろしま大学基礎講座、応用講座、専科開講 広島市が「日本女性会議2007ひろしま」開催 広島県が「子育て応援イクちゃんサービス」スタート	厚労大臣「女性は子を産む機械」発言 改正男女雇用機会均等法施行(性別差別禁止の範囲拡大等)
2008年 平成20年	開館20年記念「20周年エソール祭」開催	内閣府に「仕事と生活の調和推進室」設置
2009年 平成21年	「デートDV相談」受付開始	内閣府、DV相談ナビ(＃8008)を開始
2010年 平成22年	「女性のためのチャレンジ相談」受付開始 広島県より「在宅ワーク発注企業開拓事業」受託	「イクメン」がユークキャン新語・流行語大賞でトップテン入り 広島県の湯崎英彦知事が、全国の知事で初めて育児休業を取得
2012年 平成24年	ホテルエソール広島宿泊事業部門を貸会議室に変更	「女性活カ・子育て支援担当大臣」が新設
2013年 平成25年	エソール広島を運営する財団法人広島県女性会議が公益財団法人広島県男女共同参画財団に移行、公益事業である県の委託事業の受託を強化する	日本再興戦略が「女性活躍推進」を中核に位置付ける
2014年 平成26年	「すすめる会」が県議会、県内市町議会の女性議員に「セクハラヤジ」アンケート 4分の1の議員が経験あると回答、ヤジ以外のセクハラ報告も エソール広島、広島県より「女性の活躍推進事業」受託	日本再興戦略改訂2014が、女性が輝く社会の実現を掲げる 東京都議会がセクハラヤジ問題
2015年 平成27年	在宅ワーク支援センター休止、のち廃止 広島県より「メンター養成講座」「子育て支援員研修事業」を受託	国連本部が2030年までに達成すべき17目標を定めた「持続可能な開発目標」(SDGs)採択、5項目「ジェンダー平等を実現しよう」



エソールひろしま大学  
(2008年撮影)



2016年  
平成28年

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する基本計画(第3次)策定

2017年  
平成29年

LGBT電話相談開始(第2土曜日)

女性活躍推進法完全施行、国や自治体・企業に女性活躍基本方針と行動計画策定課す

「ワンオペ育児」がユーキャン新語・流行語大賞ノミネート

富士見町地区の再開発事業により2018年6月、エソール広島が平和記念公園東の「おりづるタワー」10階に移転  
9月に旧エソール広島は閉館した。

年  
エソール広島とその周辺のできごと

ジェンダーをめぐる国内や世界の話題

2018年  
平成30年

エソール広島が富士見町から大手町「おりづるタワー」に移転  
交流スペース・研修室の供用開始  
Facebookページ開設  
情報スペースでの図書貸出再開

2019年  
令和1年

広島県から「人権啓発指導者等養成等業務」受託  
エソール広島の開館日及び開館時間の拡大



原爆ドーム東隣のおりづるタワー  
10階にエソールは移転

2020年  
令和2年

コロナ拡大の影響でエソールひろしま大学休止、講座や研修事業は中止または延期に  
4～5月、コロナ影響で夜間閉館、相談業務以外全業務休止  
「新型コロナウイルス禍が女性に及ぼす影響」についての緊急アンケート」実施  
エソール広島YouTubeチャンネル開設



エソールひろしま大学  
(2018年撮影)

2021年  
令和3年

エソールひろしま大学をオンラインで開講  
広島県人権男女参画課がわたらしい生き方応援課に名称変更  
広島県から「わたらしい生き方」を選択するためのワークショップ事業」受託

2022年  
令和4年

1月～3月、コロナ影響で臨時休館  
専門家による相談会及び支援者への助言会開催(年2回)  
富士見町跡地に建てられたヒルトン広島の敷地内に、エソール広島の前身「広島県婦人会館」を1951年に建設した「広島県地域婦人団体連絡協議会」の「創建の地」石碑再設置  
若年層対象の「セクシュアリティ教育講演会」を共催



富士見町のエソール広島跡地に建てられたヒルトン広島の敷地内に移設された「創建の地」碑

2023年  
令和5年

女性に対する暴力をなくす運動期間に合わせ、YouTubeで啓発動画配信  
女性の健康をテーマにした「フェムテックフェス2023」を共催

「こども家庭庁」発足、LGBT理解増進法施行  
G7広島サミット開催、全ての政策分野に一貫したジェンダー平等主流化や、女性の完全なエンパワメント、意思決定プロセスへの完全かつ平等な参加促進など表明

改正育児・介護休業法施行(産後パパ育休創設等)  
イランで、公の場で女性に着用が義務付けられているヘジャブ(スカーフ)の被り方をめぐって逮捕された女性が死亡したことをきっかけに大規模なデモが発生

女性誌「ミセス」が休刊、60年の歴史に幕  
「新語・流行語大賞」に「ジェンダー平等」がノミネート  
東京オリンピックにあわせて成立を目指したLGBT関連法案が廃案に

女性活躍・ハラスメント規制法施行  
G20のエンゲージメントグループの一つで、女性の経済的エンパワメントを目的としてG20に提言を行う「W20」が、オンラインでサミット開催  
ハイレベルセッションのテーマは「女性の経済的エンパワメントの促進」

働き方改革関連法公布、順次施行、男女雇用機会均等法改正(不利益取り扱い禁止)  
DV防止法一部改正(児童虐待防止強化等)  
G7ピアリティサミット(フランス)開催、ジェンダー平等及び女性のエンパワメントに関するG7宣言採択

政治分野における男女共同参画の推進に関する法律(候補者男女均等法)公布・施行